

平成21年7月の結果 (二人以上の世帯)

二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 285,078 円
 前年同月比 実質 2.0%の減少 前月比(季節調整値) 実質 1.3%の減少
 名目 4.5%の減少

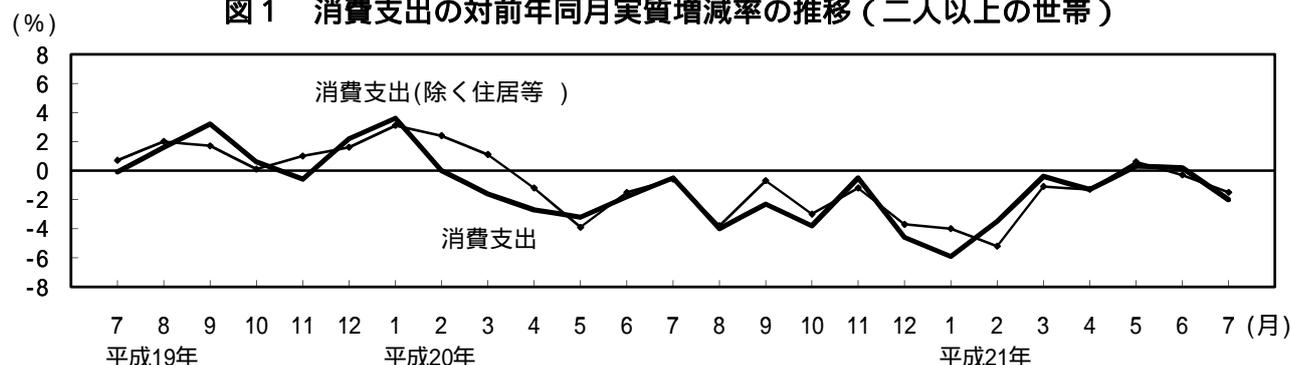
消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 1.5%の減少 前月比(季節調整値) 実質 0.1%の増加

うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 0.2%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

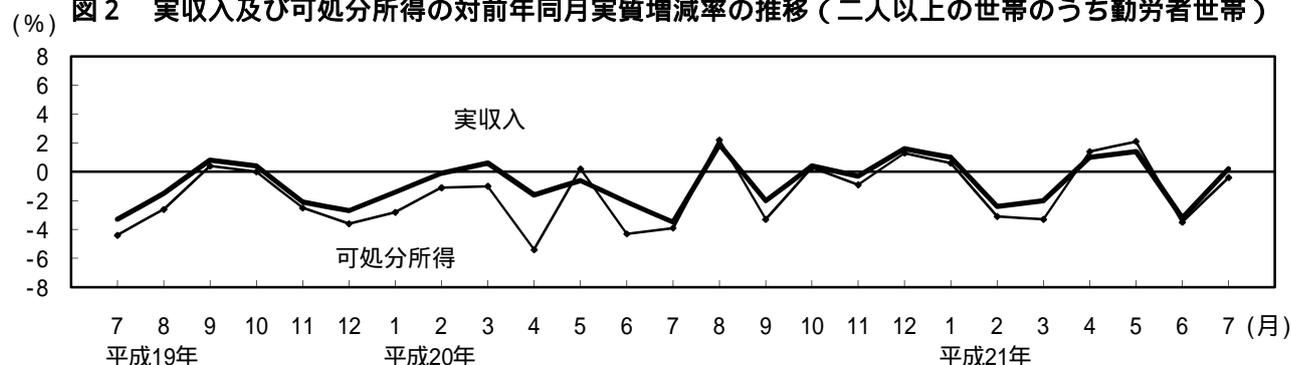
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成20年						平成21年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	-0.5	-4.0	-2.3	-3.8	-0.5	-4.6	-5.9	-3.5	-0.4	-1.3	0.3	0.2	-2.0
消費支出(除く住居等)	-0.6	-3.8	-0.7	-3.0	-1.2	-3.7	-4.0	-5.2	-1.1	-1.3	0.6	-0.3	-1.5

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成20年						平成21年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実収入	-3.5	1.9	-2.0	0.4	-0.3	1.6	1.0	-2.4	-2.0	1.0	1.4	-3.2	0.2
可処分所得	-3.9	2.2	-3.3	0.3	-0.9	1.3	0.6	-3.1	-3.3	1.4	2.1	-3.5	-0.4
消費支出	-0.1	-3.1	-3.4	-6.0	1.2	-4.1	-5.7	-1.0	0.7	0.4	1.8	-0.9	-1.6
平均消費性向	2.6	-4.4	-0.1	-5.2	1.8	-2.5	-5.8	1.6	3.7	-1.0	-0.3	1.4	-0.9

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成21年7月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	285,078	-4.5	-2.0	-2.0		3か月ぶりの実質減少
食料	67,245	-1.3	-0.6	-0.14	<減少> 外食,酒類など	2か月連続の実質減少
住居	17,996	-7.4	-7.3	-0.47	<減少> 設備修繕・維持	6か月ぶりの実質減少
光熱・水道	17,576	-5.6	2.7	0.17	<増加> 電気代	4か月連続の実質増加
家具・家事用品	12,086	-4.8	-2.0	-0.08	<減少> 室内装備・装飾品,家事雑貨など	2か月連続の実質減少
被服及び履物	11,873	-13.3	-12.7	-0.58	<減少> 洋服,シャツ・セーター類など	8か月連続の実質減少
保健医療	12,743	-2.9	-2.9	-0.13	<減少> 保健医療サービス	3か月ぶりの実質減少
交通・通信	39,418	-6.4	1.1	0.15	<増加> 交通,通信	2か月連続の実質増加
教育	9,229	-5.8	-6.6	-0.22	<減少> 授業料等	3か月連続の実質減少
教養娯楽	31,085	-2.4	0.5	0.05	<増加> 教養娯楽用耐久財	2か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	65,827	-4.4	(-1.8)	(-0.43)	<減少> 諸雑費,交際費など	16か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

注2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
設備修繕・維持	[-0.71]	給排水関係工事費,外壁・塀等工事費
諸雑費	[-0.46]	葬儀関係費,婚礼関係費
授業料等	[-0.32]	私立大学,幼稚園
交際費	[-0.27]	贈与金,住宅関係負担費
洋服	[-0.24]	背広服,婦人服
保健医療サービス	[-0.24]	他の入院料 ^{*1} ,歯科診療代
教養娯楽サービス	[-0.22]	外国パック旅行費,宿泊料
シャツ・セーター類	[-0.19]	他の男子用シャツ ^{*2} ,他の婦人用シャツ ^{*3}
<増加項目>		
教養娯楽用耐久財	[0.64]	テレビ,パーソナルコンピュータ
家賃地代	[0.24]	公営家賃,民営家賃
交通	[0.19]	鉄道通勤定期代,航空運賃

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

注2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

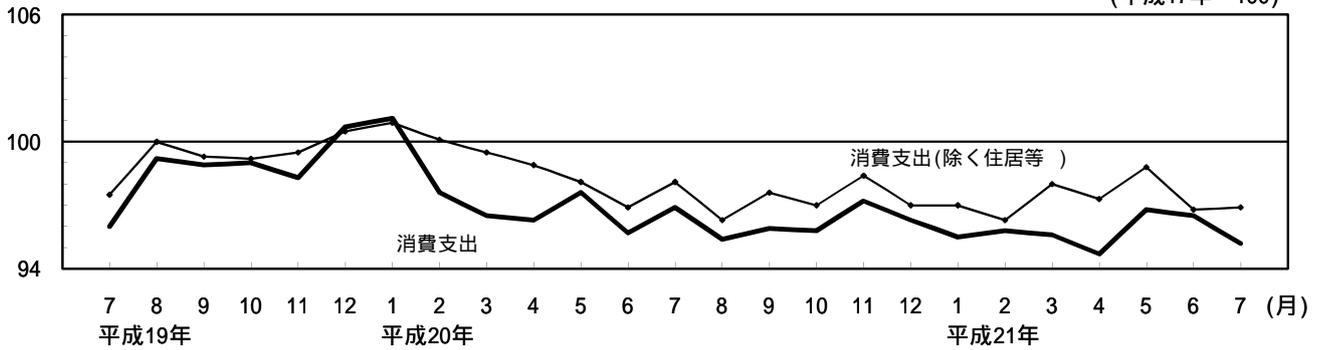
*1 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

*2 「他の男子用シャツ」とは、「ワイシャツ」以外の男子用シャツ類をいう。

*3 「他の婦人用シャツ」とは、「ブラウス」以外の婦人用シャツ類をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

（平成17年 = 100）



	平成20年						平成21年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	96.9	95.4	95.9	95.8	97.2	96.3	95.5	95.8	95.6	94.7	96.8	96.5	95.2
対前月変化率(%)	1.3	-1.5	0.5	-0.1	1.5	-0.9	-0.8	0.3	-0.2	-0.9	2.2	-0.3	-1.3
消費支出(除く住居等)	98.1	96.3	97.6	97.0	98.4	97.0	97.0	96.3	98.0	97.3	98.8	96.8	96.9
対前月変化率(%)	1.2	-1.8	1.3	-0.6	1.4	-1.4	0.0	-0.7	1.8	-0.7	1.5	-2.0	0.1

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成21年7月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	573,821	-2.4	0.2	0.2	2か月ぶりの実質増加
世帯主収入	488,667	-1.5	1.1	0.93	7か月ぶりの実質増加
定期収入	354,770	-0.8	1.8	1.11	2か月連続の実質増加
臨時収入・賞与	133,896	-3.4	-0.8	-0.19	
配偶者の収入	62,166	-7.8	-5.3	-0.61	2か月連続の実質減少
うち女性	61,796	-7.8	-5.3	-0.61	2か月連続の実質減少
他の世帯員収入	9,029	-25.5	-23.5	-0.48	6か月連続の実質減少
非消費支出	104,250	0.4	-	-	4か月ぶりの増加
可処分所得	469,571	-3.0	-0.4	-	2か月連続の実質減少
消費支出	316,623	-4.2	-1.6	-	2か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	67.4	(前年同月) (ポイント差) 68.3 -0.9			季節調整値で見ると、74.9%で、前月に比べ、1.5ポイントの低下となった。